

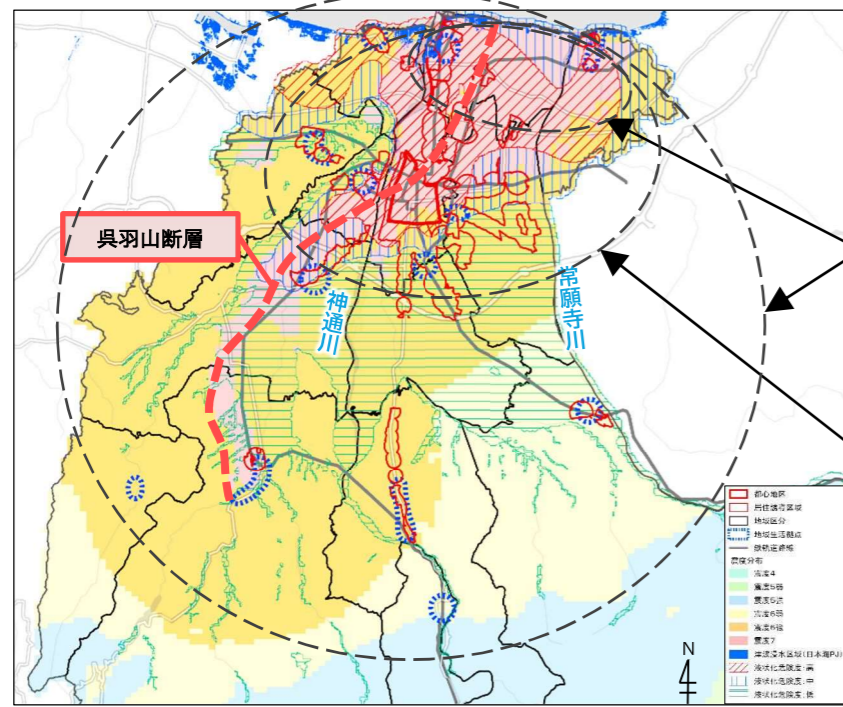
## 5. 本市の防災上の課題と取組方針・取組内容・スケジュール

### 1) 広域的な防災上の課題と取組方針・取組内容およびスケジュール

#### ■地震起因

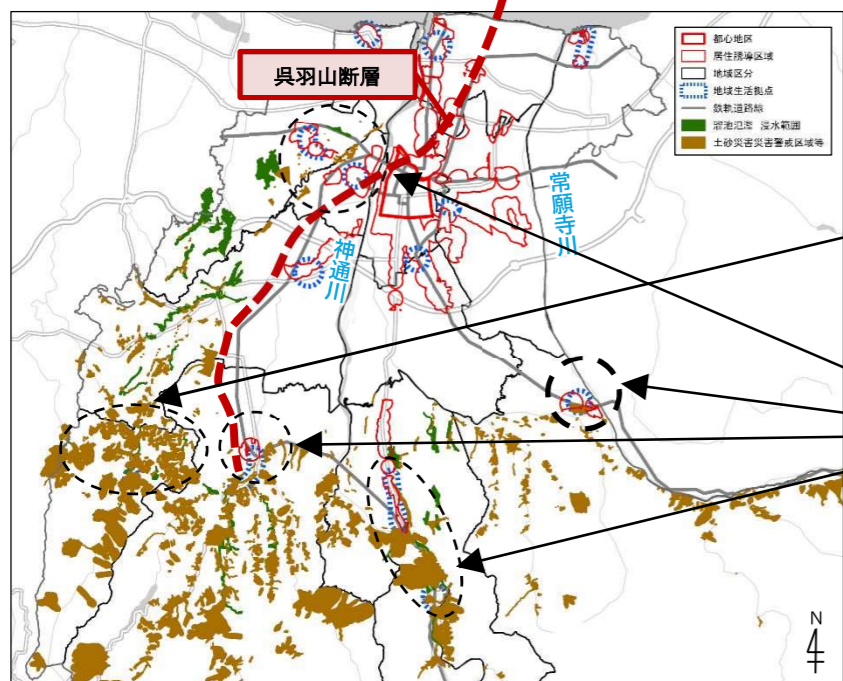
居住誘導区域人口の約9割が震度6強以上の揺れの影響を受けるだけでなく、沿岸部では液状化や津波、中山間地域などではため池の崩落や土砂災害により、人命の確保が困難になることも予想されます。

このため、被害を最小限に抑えるための基盤整備の推進や円滑に避難するための避難・救助環境の整備等の取組が重要です。



- 地震** 全地域
  - 震度5弱から震度7の区域であり、耐震性の低い建物の倒壊等による人的被害や都市基盤の損傷・機能停止の恐れ。
- 津波** 富山北部、水橋地域
  - 沿岸部を中心に、津波浸水想定区域が分布しており、一部では浸水深が0.3m以上や到達時間が1分未満の恐れ。
- 液状化** 富山中央、富山北部、和合、富山西部、富山東部、水橋、婦中地域
  - 液状化危険度「中」や「高」であり、緊急輸送道路等の都市基盤の機能不全や、建物被害の恐れ。

取組方針・内容		短期	中期	長期
低減	都市の防災機能強化			
	避難路や緊急輸送道路の強靱化			
	公共施設(建物)の耐震化<地震のみ>	完了		
	民間施設(建物)の耐震化支援<地震のみ>			
	空き家対策<地震のみ>			
	上下水道の強靱化			
	道路や公園等の整備・改築			
	避難・救助環境の整備			
	防災・救援体制の整備			
	防災拠点の整備・改築・機能強化			
	災害時のリアルタイム情報の収集・発信			
	避難路や緊急輸送道路の強靱化(再掲)			
	地域主体の防災行動の推進			
	災害リスク情報の充実・発信			
災害時の共助体制の構築				
迅速な復旧・復興体制の整備				
復旧・復興関連計画の改善				
被災者支援体制の充実	完了			



- ため池氾濫** 山田地区
  - 避難行動が困難となる浸水深0.5m以上の浸水が1分以内に発生する区域が存在。
- 土砂災害** 呉羽、富山西部、大沢野、八尾、山田、細入地域
  - 可住地で発生した場合には、人命や家屋への被害が想定されるほか、山間部では緊急車両等の通行不能や孤立化の恐れ。

取組方針・内容		短期	中期	長期
低減	基盤整備の推進			
	土砂災害対策の基盤整備<土砂災害のみ>			
	都市の防災機能強化			
	避難路や緊急輸送道路の強靱化			
	道路や公園等の整備・改築			
	避難・救助環境の整備			
	防災・救援体制の整備			
	防災拠点の整備・改築・機能強化			
	災害時のリアルタイム情報の収集・発信			
	避難路や緊急輸送道路の強靱化(再掲)			
	地域主体の防災行動の推進			
	防災意識や知識の啓発			
	災害リスク情報の充実・発信			
	災害時の共助体制の構築			
迅速な復旧・復興体制の整備				
被災者支援体制の充実	完了			

■豪雨起因

居住誘導区域人口の約9割が洪水(想定最大規模降雨)による浸水の影響を受けるだけでなく、都市部では雨水出水の影響、中山間地域等ではため池氾濫や土砂災害の影響を受けます。

このため、被害を最小限に抑えるための基盤整備の推進や円滑に避難するための避難・救助環境の整備等の取組が重要です。



取組方針・内容		短期	中期	長期
低減	基盤整備の推進			
	洪水・雨水出水対策の基盤整備	→		
	都市の防災機能強化			
	避難路や緊急輸送道路の強靱化	→		
	上下水道の強靱化	→		
	道路や公園等の整備・改築	→		
	避難・救助環境の整備			
	防災・救援体制の整備	→		
	防災拠点の整備・改築・機能強化	→		
	災害時のリアルタイム情報の収集・発信	→		
	避難路や緊急輸送道路の強靱化(再掲)	→		
	地域主体の防災行動の推進			
	防災意識や知識の啓発	→		
	災害リスク情報の充実・発信	→		
	災害時の共助体制の構築	→		
迅速な復旧・復興体制の整備				
復旧・復興関連計画の改善	→			
被災者支援体制の充実	完了			



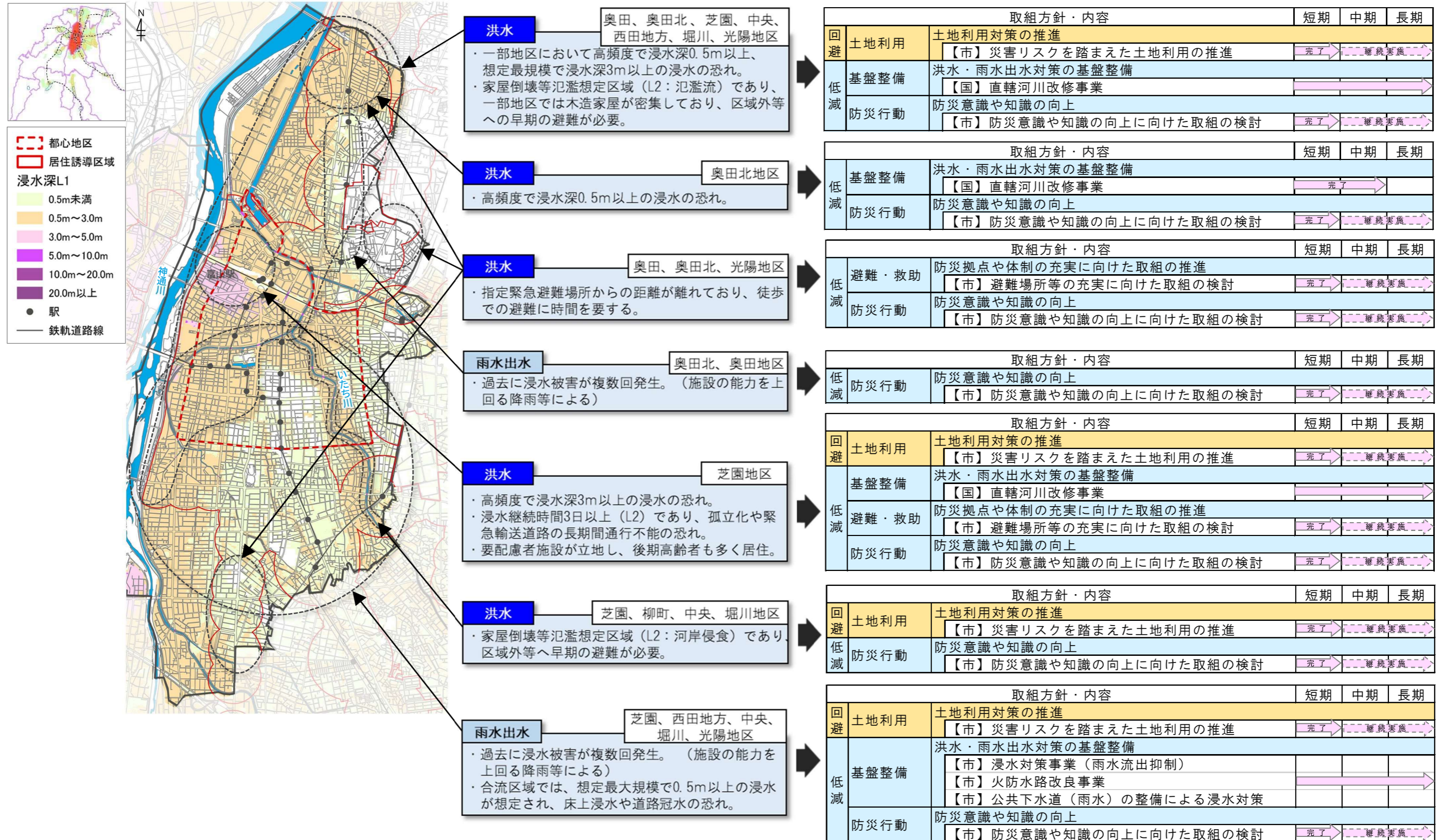
取組方針・内容		短期	中期	長期
低減	基盤整備の推進			
	洪水・雨水出水対策の基盤整備	→		
	都市の防災機能強化			
	避難路や緊急輸送道路の強靱化	→		
	民間施設(建物)の耐水化支援	→		
	上下水道の強靱化	→		
	道路や公園等の整備・改築	→		
	避難・救助環境の整備			
	防災・救援体制の整備	→		
	防災拠点の整備・改築・機能強化	→		
	災害時のリアルタイム情報の収集・発信	→		
	避難路や緊急輸送道路の強靱化(再掲)	→		
	地域主体の防災行動の推進			
	防災意識や知識の啓発	→		
	災害リスク情報の充実・発信	→		
災害時の共助体制の構築	→			
迅速な復旧・復興体制の整備				
被災者支援体制の充実	完了			

## 2) 地域単位での防災上の課題と取組方針・取組内容およびスケジュール

### (1) 富山中央地域

富山駅をはじめ多くの都市機能が集積する地域ですが、旧河道などの地形条件もあり、洪水等の豪雨を起因とした災害の影響を広く受けます。

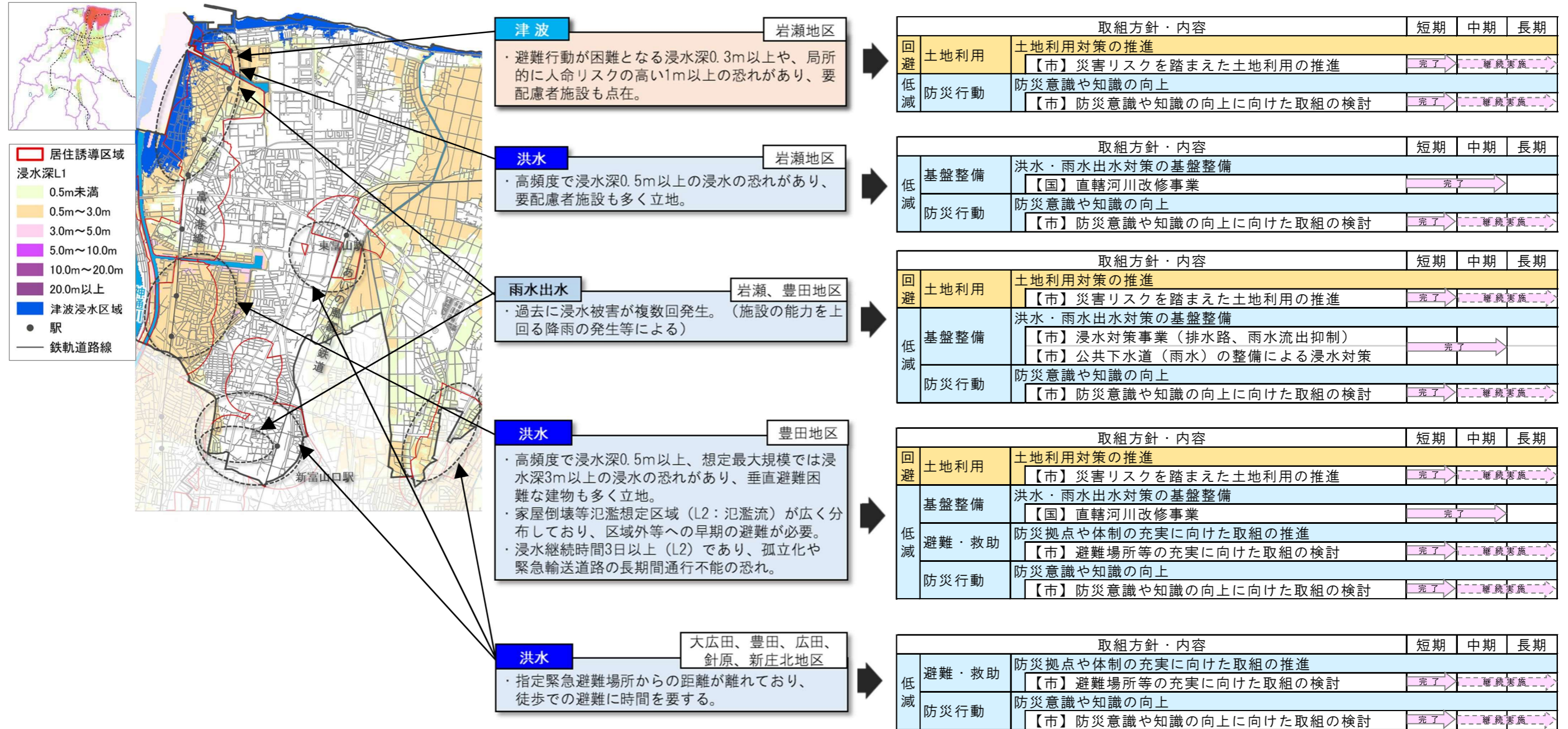
このため、避難所等の防災拠点の充実や住民の防災意識の向上等を図り避難等の確実性を高めるとともに、被害の回避に向けた土地利用対策の推進が必要です。



## (2) 富山北部地域

氾濫平野と臨海部に形成された木造住宅の密集地や住宅地等であり、要配慮者施設も多く、洪水等の豪雨を起因とした災害の影響や地震時の津波の影響を受けます。

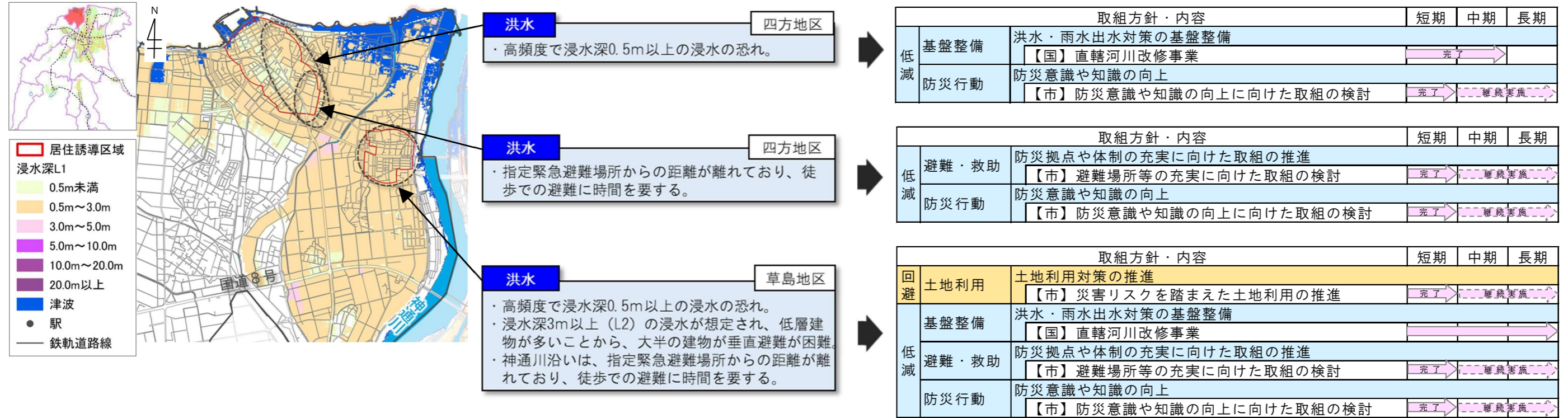
このため、地域主体の防災行動の強化等により避難等の確実性を高めるとともに、被害の回避に向けた土地利用対策の推進が必要です。



### (3) 和合地域

氾濫平野と臨海部に形成された木造住宅の密集地や低層の住宅地等であり、高頻度の洪水や浸水深の深い洪水等の影響を受けます。

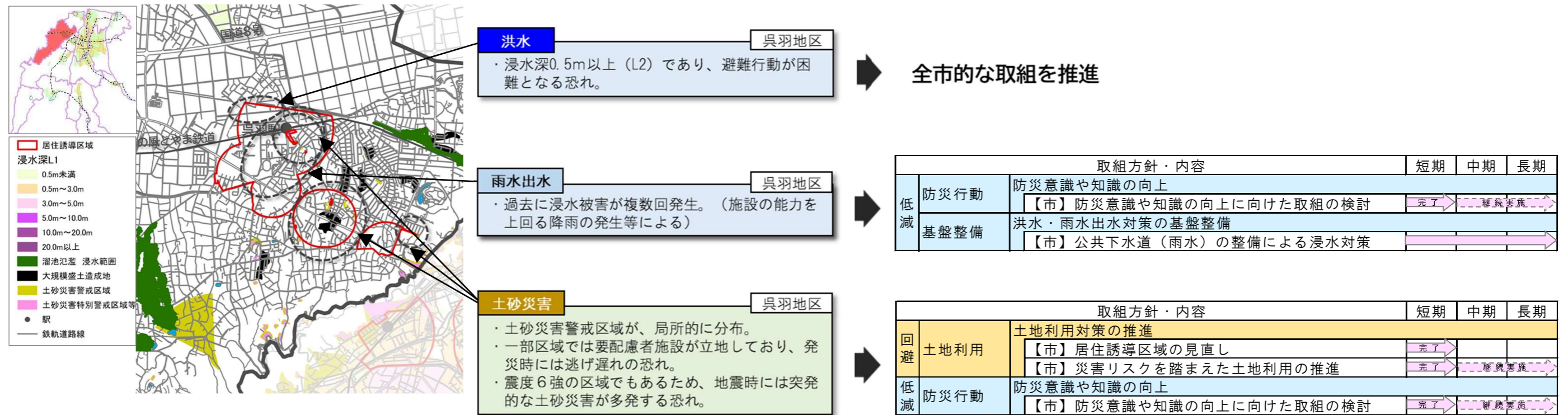
このため、地域主体の防災行動の強化や避難場所等の防災拠点の充実により避難等の確実性を高めるとともに、被害の回避に向けた土地利用対策の推進が必要です。



### (4) 呉羽地域

谷地形上に住宅地が形成され、土砂災害や雨水出水の影響が局所的にあります。

このため、土砂災害の回避に向けた土地利用対策を推進するとともに、地域主体の防災行動の強化により避難等の確実性を高める必要があります。

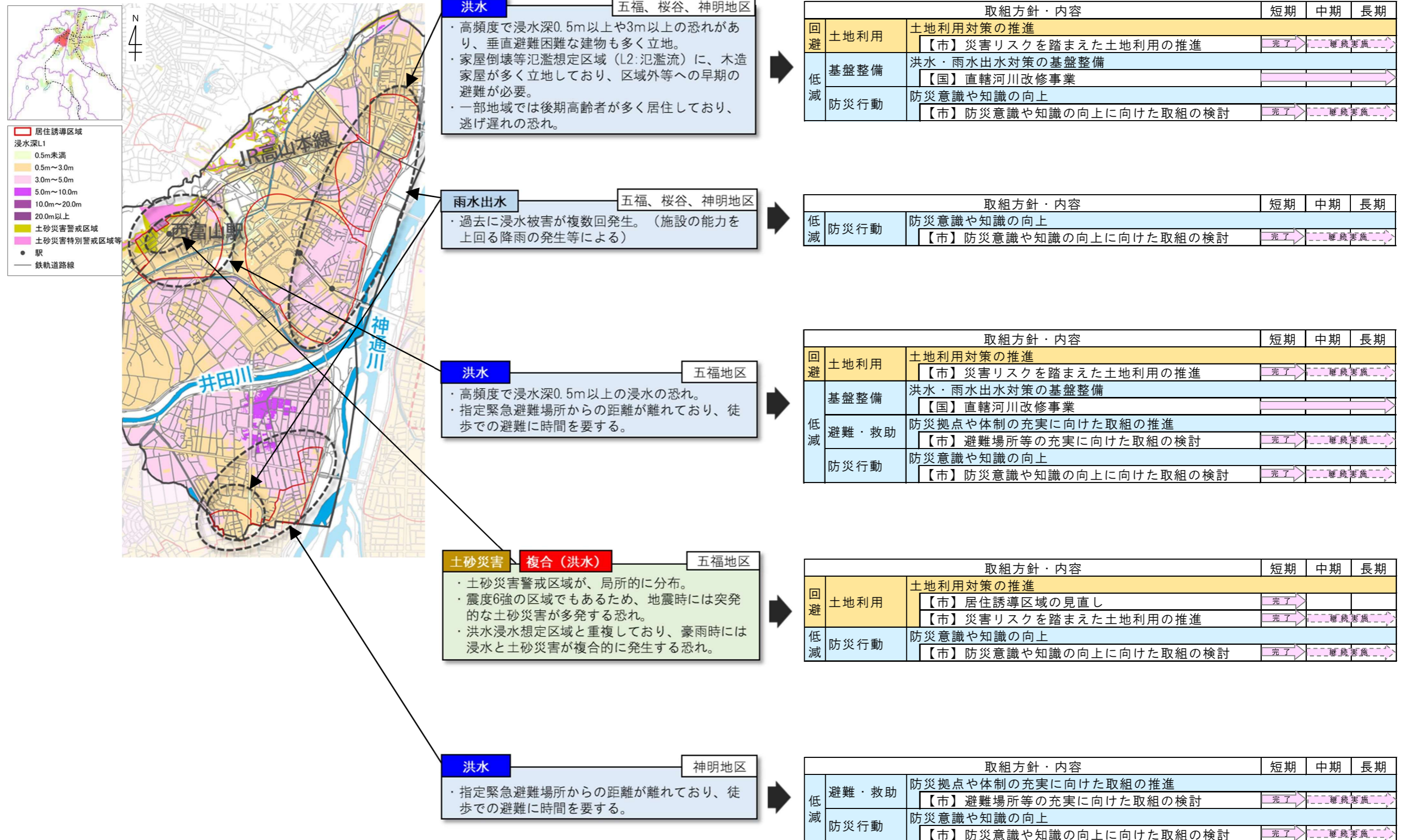


(5) 富山西部地域

富山大学などの教育文化機能が多く立地する地域ですが、神通川や井田川に隣接し氾濫平野に位置しているため、垂直避難が困難になるような洪水等の影響があります。

また、呉羽山も近接しており土砂災害の影響や複合災害の発生も懸念されます。

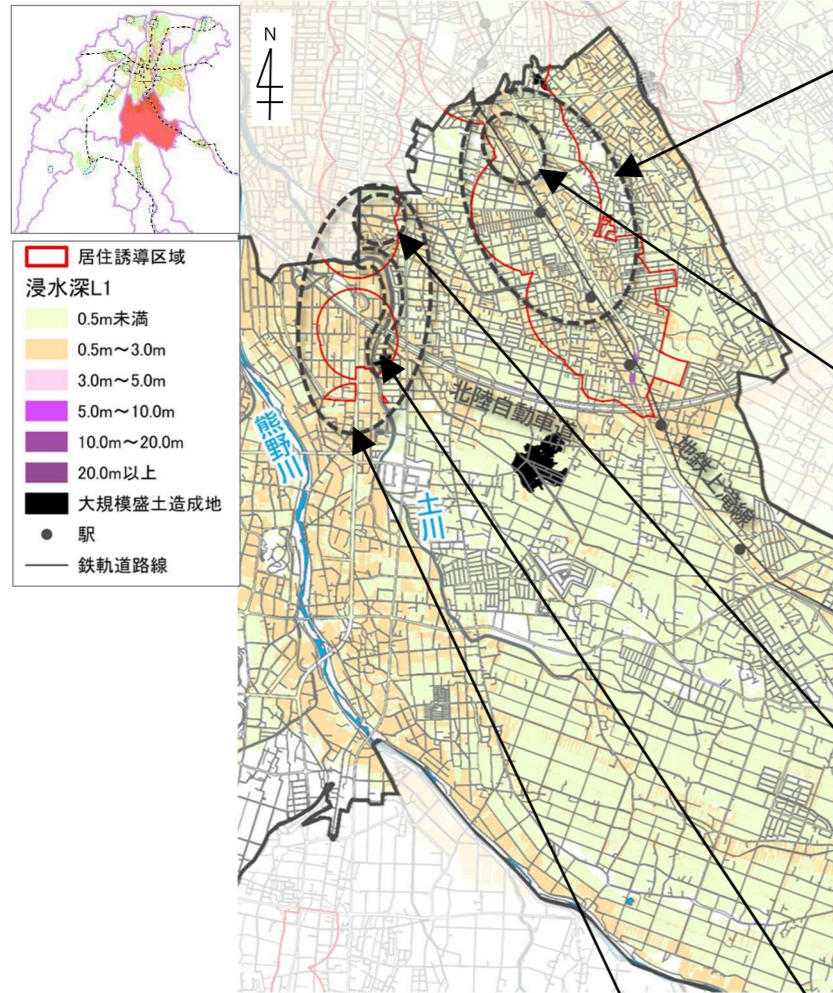
このため、土砂災害や洪水による被害の回避に向けた土地利用対策を推進するとともに、地域主体の防災行動の強化等により避難等の確実性を高める必要があります。



(6) 富山南部地域

常願寺川の扇状地に形成された住宅地であり、洪水の影響を受けやすく、雨水出水の影響や支流（熊野川や土川）の洪水等の影響もあります。

このため、地域主体の防災行動の強化や防災拠点等の充実により避難等の確実性を高めるとともに、被害の回避に向けた土地利用対策の推進が必要です。



**洪水** 堀川南地区  
 ・指定緊急避難場所からの距離が離れており、徒歩での避難に時間を要する。  
 ・一部地域では、要配慮者施設が立地し、高齢者も多く居住しており、逃げ遅れの恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
低減	避難・救助	防災拠点や体制の充実に向けた取組の推進 【市】避難場所等の充実に向けた取組の検討	完了	継続実施	
	防災行動	防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

**雨水出水** 堀川南地区  
 ・過去に浸水被害が複数回発生。（施設の能力を上回る降雨の発生等による）

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進 【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
	防災行動	防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

**雨水出水** 蛭川地区  
 ・過去に浸水被害が複数回発生。（施設の能力を上回る降雨の発生等による）

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進 【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
	低減	基盤整備 洪水・雨水出水対策の基盤整備 【市】浸水対策事業（排水路）		完了	
	防災行動	防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

**洪水** 蛭川地区  
 ・高頻度で浸水深0.5m以上、想定最大規模で局所的に浸水深3m以上の恐れがあり、垂直避難が困難な建物も点在。  
 ・指定緊急避難場所からの距離が離れており、徒歩での避難に時間を要する。  
 ・一部地域では、要配慮者施設が立地しており、逃げ遅れの恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進 【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
	低減	基盤整備 洪水・雨水出水対策の基盤整備 【国】直轄河川改修事業		完了	
	避難・救助	防災拠点や体制の充実に向けた取組の推進 【市】避難場所等の充実に向けた取組の検討	完了	継続実施	
	防災行動	防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

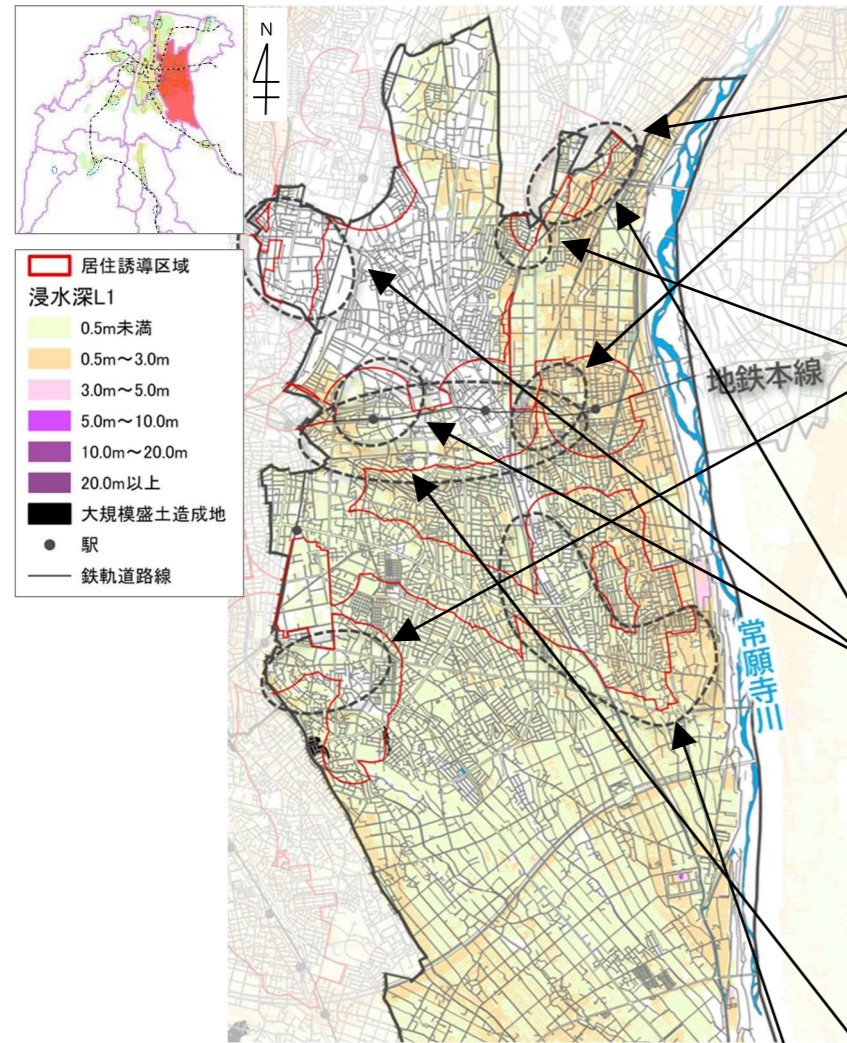
**洪水** 蛭川地区  
 ・家屋倒壊等氾濫想定区域（L2：河岸侵食）に住居等が立地しており、区域外等へ早期の避難が必要。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進 【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
	低減	防災行動 防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

(7) 富山東部地域

常願寺川に隣接している住宅地であり、広く洪水の影響を受けます。また近年には雨水出水の被害も発生しています。

このため、地域主体の防災行動の強化や防災拠点等の充実により避難等の確実性を高めるとともに、雨水出水等の被害回避に向けた土地利用対策の推進が必要です。



**洪水** 新庄北、新庄地区  
 ・高頻度で浸水深0.5m以上の浸水の恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進 【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
	低減	基盤整備 洪水・雨水出水対策の基盤整備 【国】直轄河川改修事業			
		防災行動 防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

**雨水出水** 新庄北、山室地区  
 ・過去に浸水被害が複数回発生。(施設の能力を上回る降雨の発生等による)

		取組方針・内容	短期	中期	長期
低減	防災行動	防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

**洪水** 奥田、新庄、広田地区  
 ・指定緊急避難場所からの距離が離れており、徒歩での避難に時間を要する。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
低減	避難・救助	防災拠点や体制の充実に向けた取組の推進 【市】避難場所等の充実に向けた取組の検討	完了	継続実施	
	防災行動	防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

**雨水出水** 広田、新庄、東部地区  
 ・過去に浸水被害が複数回発生。(施設の能力を上回る降雨の発生等による)

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進 【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
	低減	基盤整備	洪水・雨水出水対策の基盤整備 【市】浸水対策事業(排水路) 【市】河川水路整備事業(基幹河川) 【市】公共下水道(雨水)の整備による浸水対策		完了
防災行動		防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

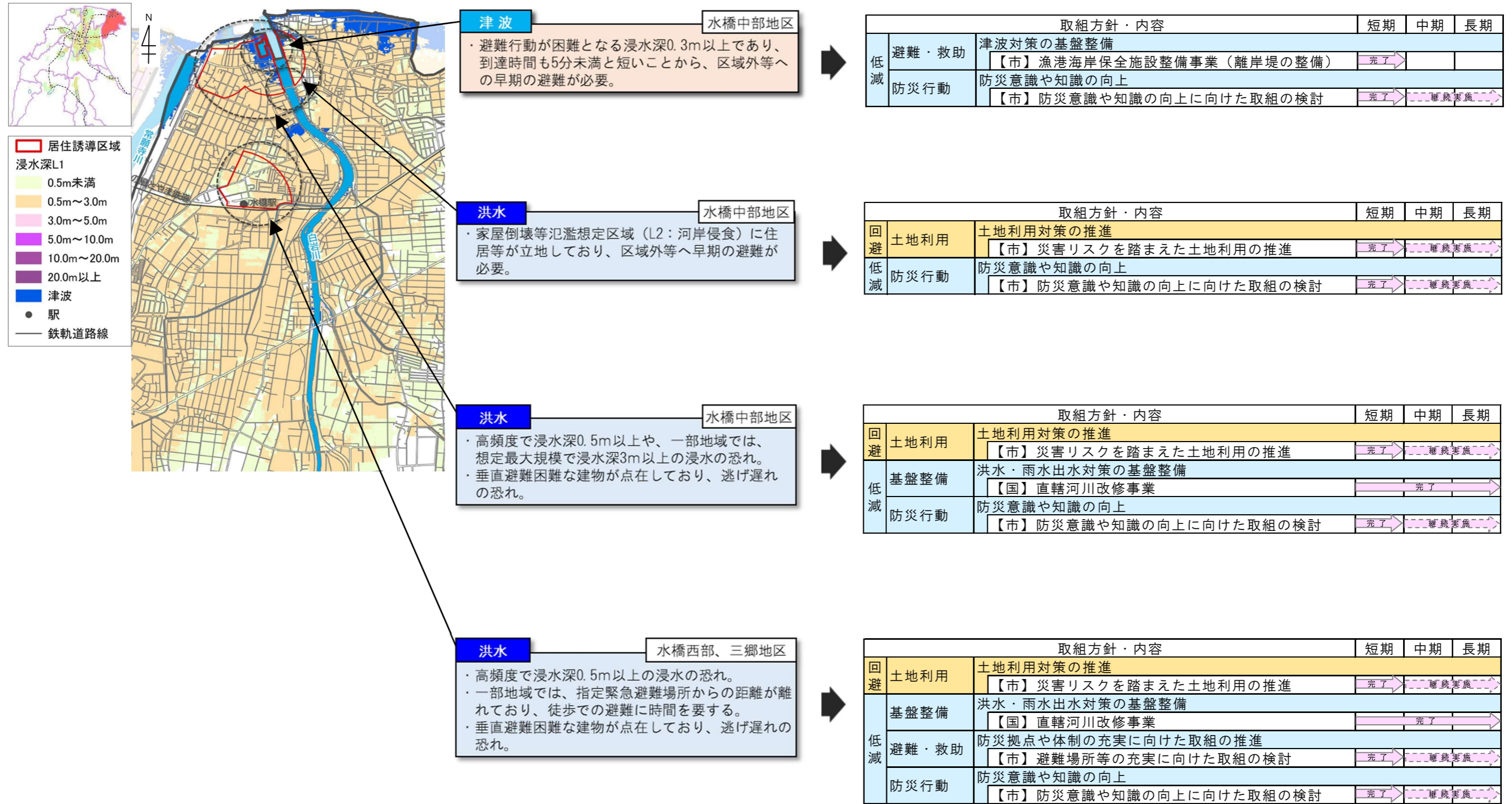
**洪水** 藤木地区  
 ・一部地域では、高頻度で浸水深0.5m以上、想定最大規模で浸水深3m以上の浸水の恐れ。  
 ・低層建物が中心であるため、垂直避難困難な建物が多く立地。  
 ・指定緊急避難場所からの距離が離れており、徒歩での避難に時間を要する。  
 ・一部地域では、後期高齢者も多く居住しており、逃げ遅れの恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進 【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
	低減	基盤整備	洪水・雨水出水対策の基盤整備 【国】直轄河川改修事業		
避難・救助		防災拠点や体制の充実に向けた取組の推進 【市】避難場所等の充実に向けた取組の検討	完了	継続実施	
防災行動		防災意識や知識の向上 【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	



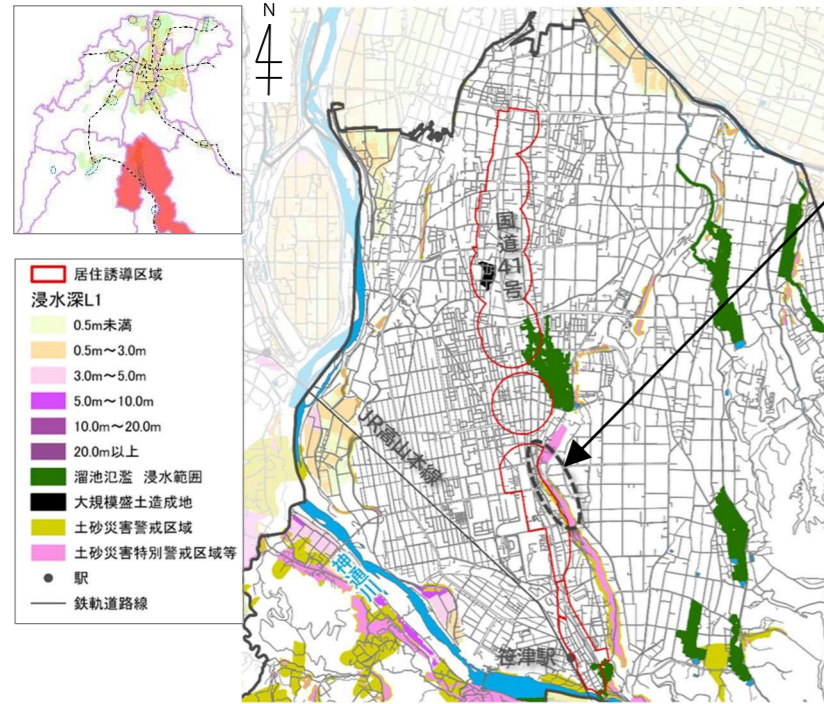
## (8) 水橋地域

富山湾や白岩川等に隣接し、木造住宅の密集地等もあることから、豪雨時の洪水の影響や地震時の津波の影響（到達時間が短い場所あり）があります。  
 このため、地域主体の防災行動の強化や防災拠点等の充実により避難等の確実性を高めるとともに、被害の回避に向けた土地利用対策の推進が必要です。



### (9) 大沢野地域

河岸段丘上に位置した住宅地であり、豪雨による洪水等の影響を受けにくいですが、局所的に土砂災害の影響があります。このため、土砂災害回避に向けた土地利用対策等の推進が必要です。



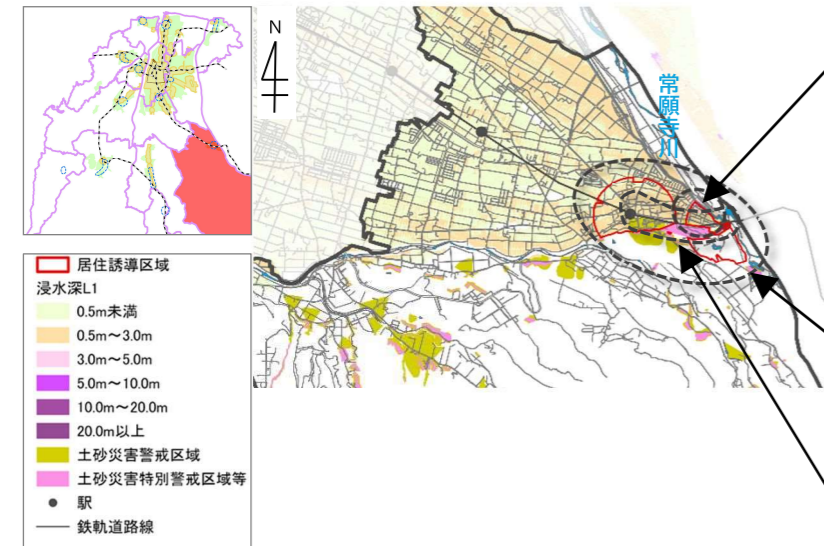
**土砂災害** 大沢野地区

- 土砂災害警戒区域が、局所的に分布。
- 震度6強の区域でもあるため、地震時には突発的な土砂災害が多発する恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】居住誘導区域の見直し	完了		
		【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

### (10) 大山地域

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、常願寺川からの洪水や崖地での土砂災害の影響、複合災害の影響があります。このため、土砂災害や洪水による被害の回避に向けた土地利用対策の推進とともに、地域主体の防災行動の強化等による避難等の確実性を高める必要があります。



**洪水** 上滝地区

- 浸水深3m以上 (L1/L2) の恐れがあり、垂直避難困難な建物が多く立地。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (L2: 氾濫流・河岸侵食) であり、区域外等への早期の避難が必要。
- 後期高齢者が多く居住しており、逃げ遅れの恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
低減	基盤整備	洪水・雨水出水対策の基盤整備			
		【国】直轄河川改修事業	完了		
	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

**洪水** 上滝地区

- 高頻度で浸水深0.5m以上の浸水の恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
低減	基盤整備	洪水・雨水出水対策の基盤整備			
		【国】直轄河川改修事業	完了		

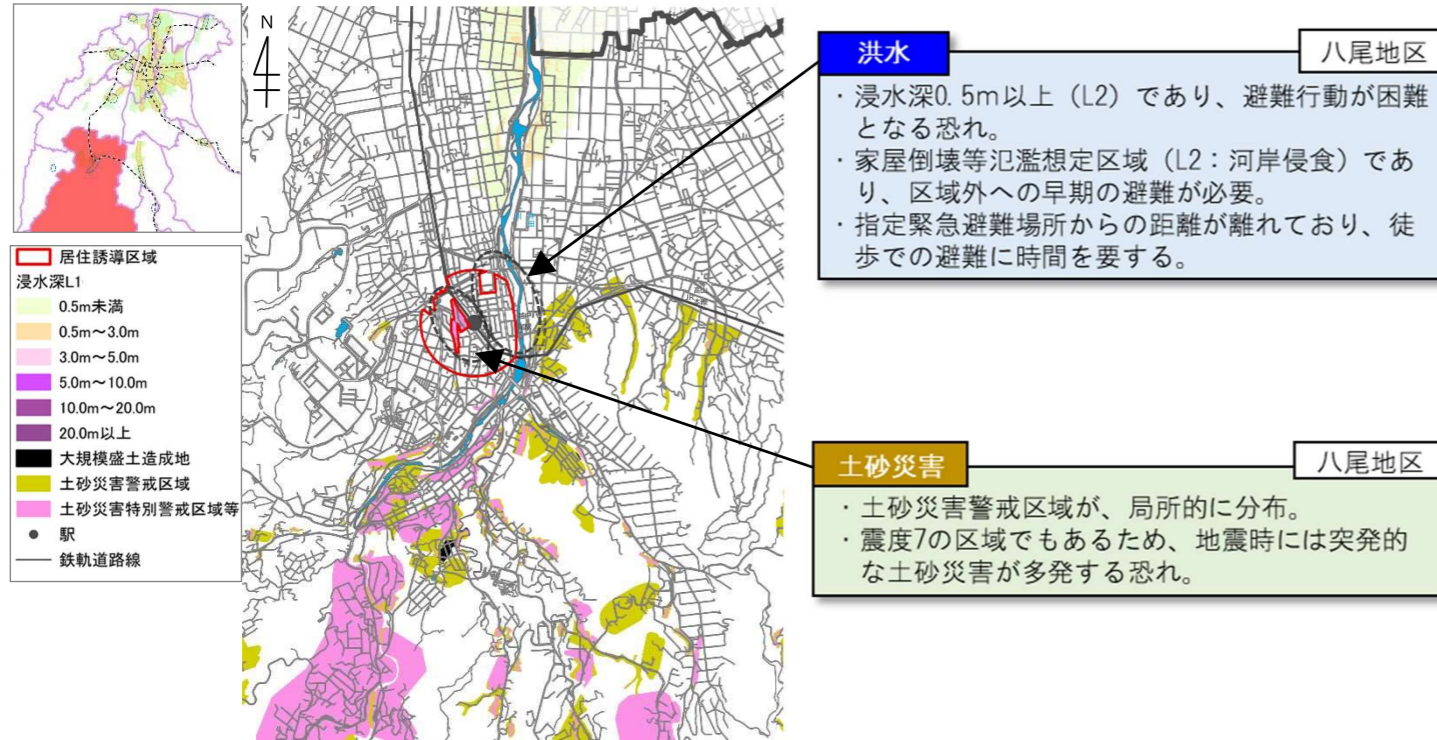
**土砂災害 (洪水との複合災害を含む)** 上滝地区

- 土砂災害警戒区域が、局所的に分布。
- 震度6弱の区域でもあるため、地震時には突発的な土砂災害が多発する恐れ。
- 洪水浸水想定区域と重複しており、豪雨時には、浸水と土砂災害が複合的に発生する恐れ。

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】居住誘導区域の見直し	完了		
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

### (1 1) 八尾地域

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、井田川からの洪水の影響や隣接する崖地での土砂災害の影響があります。  
 このため、土砂災害回避に向けた土地利用対策の推進とともに、地域主体の防災行動の強化等による避難等の確実性を高める必要があります。

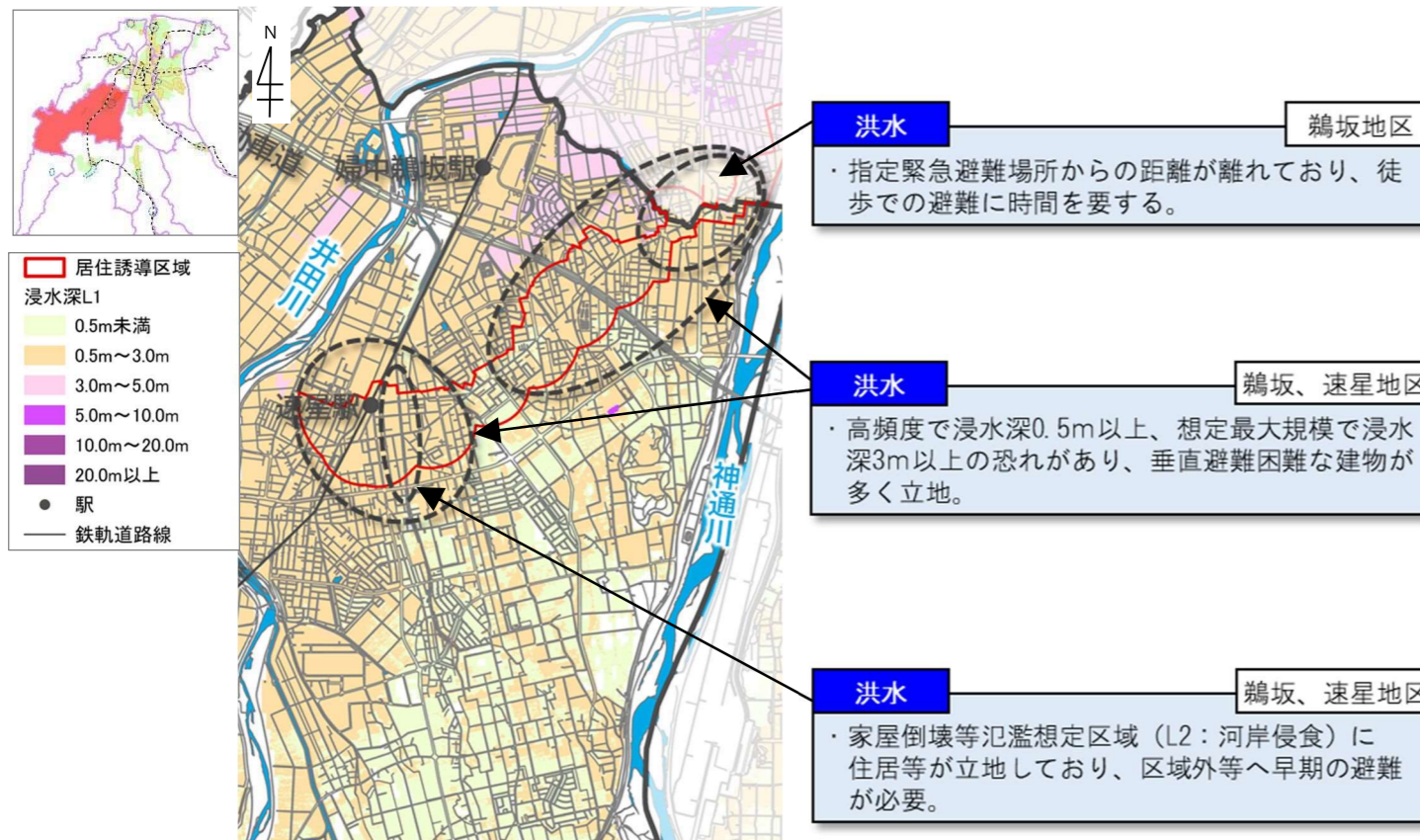


		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
低減	避難・救助	防災拠点や体制の充実にに向けた取組の推進			
		【市】避難場所等の充実にに向けた取組の検討	完了	継続実施	
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】居住誘導区域の見直し	完了		
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

### (1 2) 婦中地域

河川に挟まれた住宅地であり、垂直避難が困難となるような洪水の影響もあります。  
 このため、防災拠点等の充実とともに、地域主体の防災行動の強化により避難等の確実性を高める必要があります。



		取組方針・内容	短期	中期	長期
低減	避難・救助	防災拠点や体制の充実にに向けた取組の推進			
		【市】避難場所等の充実にに向けた取組の検討	完了	継続実施	
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

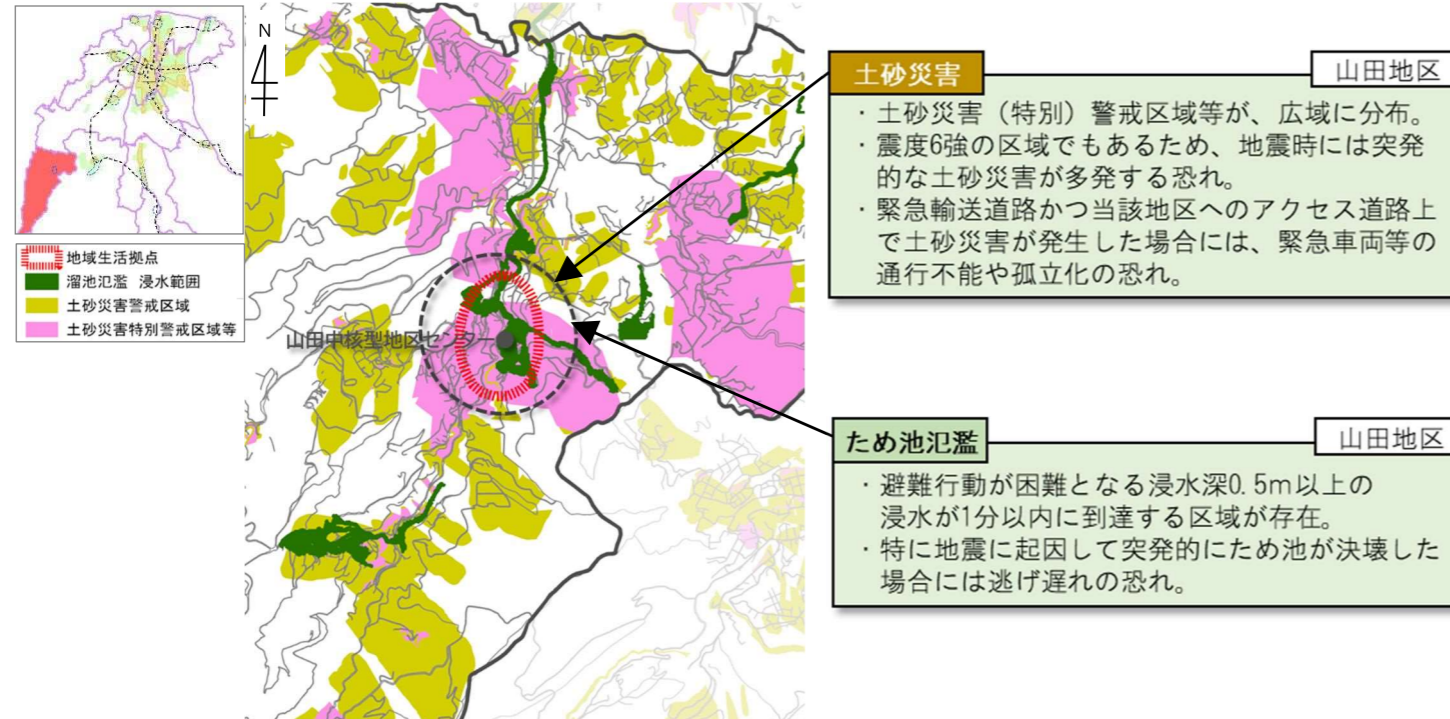
		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

### (13) 山田地域

中山間地域に位置し、土砂災害やため池氾濫の影響が広くあります。

このため、土砂災害回避のための土地利用対策を推進するとともに、地域主体の防災行動の強化により避難等の確実性を高める必要があります。



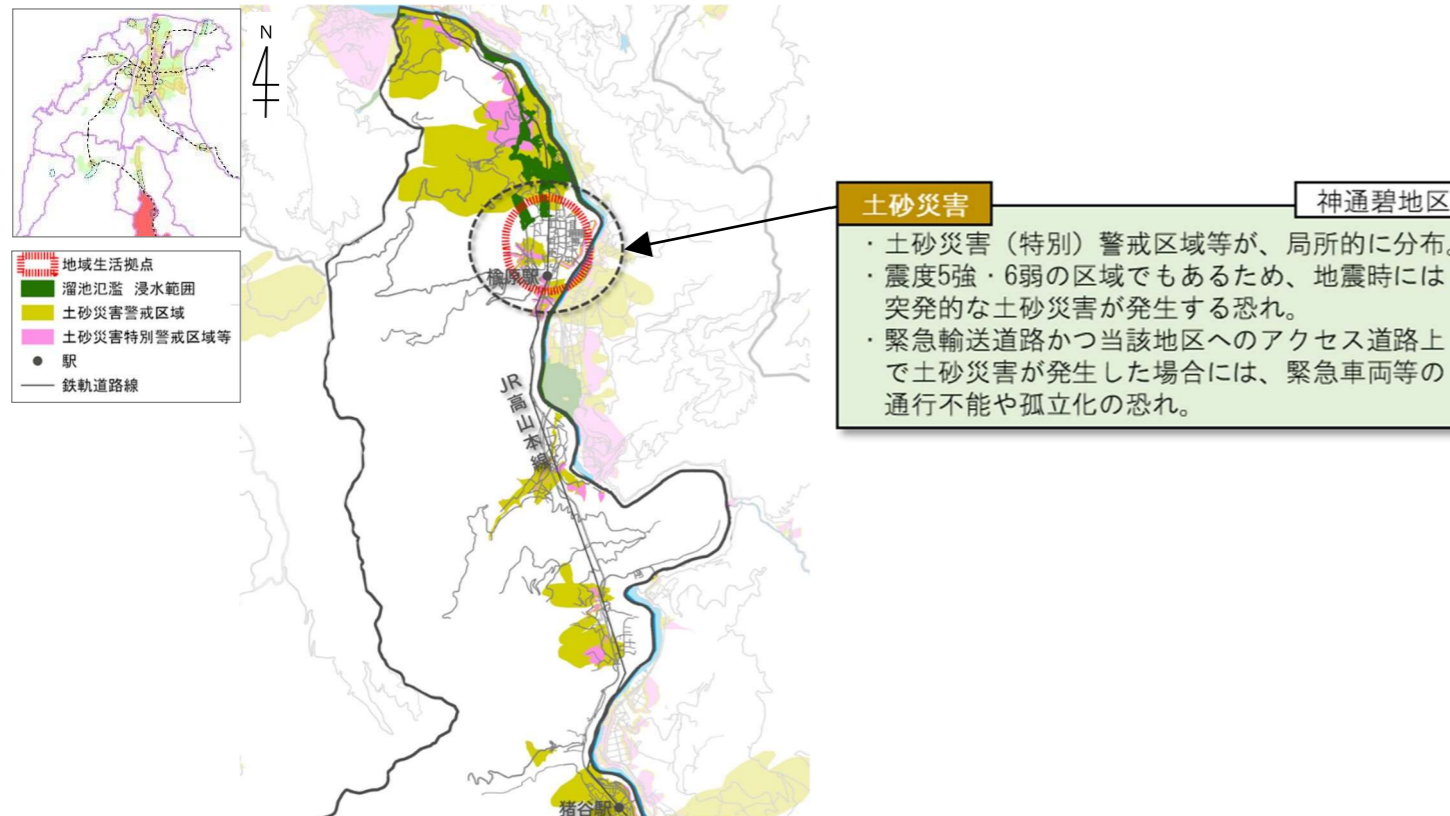
		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

		取組方針・内容	短期	中期	長期
低減	基盤整備	ため池氾濫対策の基盤整備			
		【市】農村地域防災減災事業（農業用ため池の改修）	完了		
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

### (14) 細入地域

山間地域に位置し、土砂災害の影響があります。

このため、土砂災害回避のための土地利用対策を推進するとともに、地域主体の防災行動の強化により避難等の確実性を高める必要があります。



		取組方針・内容	短期	中期	長期
回避	土地利用	土地利用対策の推進			
		【市】災害リスクを踏まえた土地利用の推進	完了	継続実施	
低減	防災行動	防災意識や知識の向上			
		【市】防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	完了	継続実施	

## 6. 取組内容のスケジュール

取組内容のスケジュール（短期:5年、中期:10年、長期:20年）を次のとおり設定します。

取組方針	取組内容・実施主体	ハード ／ ソフト	対応する災害リスク							主な 実施地域	実施期間（R5～）		
			洪水	雨水 出水	土砂 災害	ため 池	地震	液状 化	津波		短期 （5年）	中期 （10年）	長期 （20年）
<b>土地利用対策の推進（リスク回避）</b>													
居住誘導区域の見直し													
	市・土砂災害警戒区域の居住誘導区域からの除外	ソフト			○					呉羽、富山西部、大沢野、大山、八尾	完了		
災害リスクを踏まえた土地利用の推進													
	市・災害リスクを踏まえた土地利用施策の検討	ソフト	○	○	○	○			○	全地域	完了		継続実施
<b>基盤整備の推進（リスク低減）</b>													
洪水・雨水出水対策の基盤整備													
国	・直轄河川改修事業（急流河川対策、堤防整備・強化河道掘削、許可工作物の改築） ・霞堤の機能維持 ・直轄砂防事業 ・国有林野事業（治山対策・森林整備）※ ・民有林直轄治山事業※ ・森林整備※	ハード	○	○						全地域（各河川の流域等）			
県	・河道拡幅、護岸整備、河床掘削 ・砂防関係事業※ ・補助治山事業※ ・森林整備事業※ ・既存ダムの前放流等の実施・体制構築	ハード	○	○						全地域（各河川の流域等）			
市	・河川水路事業（基幹河川、排水路） ・火防水路改良事業 ・グラウンド貯留の実施 ・浸水対策事業（排水路、雨水流出抑制） ・公共下水道（雨水）の整備による浸水対策 ・水と緑の森づくり事業※ ・森林環境保全整備事業※ ・森林経営管理事業※	ハード	○	○						全地域（各河川の流域等）			
	・住民による流出抑制対策（水田貯留）への支援	ハード	○	○						全地域（各河川の流域等）			
	・降雨時における農業用水門の管理強化（電動化）	ハード	○	○						全地域（下水道事業計画区域等）			
	・高精度降雨情報やリアルタイム運用システムの構築検討	ソフト	○	○						全地域（下水道事業計画区域等）	完了		継続実施
	・開発行為に伴う雨水流出抑制指導の見直し検討	ハード	○	○						全地域（下水道事業計画区域等）	完了		継続実施
	・住宅や民間施設における雨水貯留施設の普及検討	ハード	○	○						全地域（下水道事業計画区域等）	完了		継続実施
	・浸水対策基本計画の見直し	ソフト	○	○						全地域（下水道事業計画区域等）	完了		継続実施
民間	・既存ダムにおける前放流等の実施・体制構築	ハード	○	○						全地域（各河川の流域等）			
<b>土砂災害対策の基盤整備</b>													
国	・国有林野事業（治山対策・森林整備）※ ・民有林直轄治山事業※ ・森林整備※	ハード			○					呉羽、富山西部、大沢野、大山、八尾、山田、細入			
県	・砂防関係事業※ ・補助治山事業※ ・森林整備事業※	ハード			○					呉羽、富山西部、大沢野、大山、八尾、山田、細入			
市	・急傾斜地崩壊対策事業	ハード			○					呉羽、富山西部、大沢野、大山、八尾、山田、細入			
	・水と緑の森づくり事業※ ・森林環境保全整備事業※ ・森林経営管理事業※	ハード			○					呉羽、富山西部、大沢野、大山、八尾、婦中、山田、細入			
<b>ため池氾濫対策の基盤整備</b>													
市	・農村地域防災減災事業（農業用ため池の改修）	ハード			○					山田	完了		
<b>津波対策の基盤整備</b>													
市	・漁港海岸保全施設整備事業（離岸堤の整備）	ハード							○	水橋	完了		

取組方針	取組内容・実施主体	ハード ／ ソフト	対応する災害リスク							主な 実施地域	実施期間 (R5～)			
			洪水	雨水 出水	土砂 災害	ため 池	地震	液状 化	津波		短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)	
<b>都市の防災機能強化 (リスク低減)</b>														
<b>避難路や緊急輸送道路の強靱化</b>														
市	・無電柱化事業 ・幹線市道整備事業※ ・街路整備事業※ ・歩行者空間整備事業※ ・歩行者空間リフレッシュ事業※ ・橋梁維持補修事業※ ・トンネル等保全事業※ ・道路附属物等保全事業※	ハード	○	○	○	○	○	○	○	○	全地域	→		
市	・体育施設整備事業※ ・小・中学校校舎改築事業※ ・屋内運動場建設事業※	ハード						○			富山中央、 富山西部、富山南部、 富山東部、大沢野、大山	完了		
市	・木造住宅耐震改修等支援事業 ・私立保育所等補助事業	ハード						○			全地域	→		
<b>民間施設 (建物) の耐震化支援</b>														
市	・建築物の耐水化支援施策の検討	ハード	○								全地域 (下水道事業計画区域等)	完了	→	継続実施
	・土のうの備蓄・配布	ハード	○								全地域 (下水道事業計画区域等)	→		
<b>空き家対策</b>														
市	・空き家対策推進事業	ソフト						○			全地域	→		
<b>上下水道の強靱化</b>														
市	・信頼性の高い配水システムの構築 (配水幹線、防災拠点、老朽水道管) ・公共下水道 (汚水) の改築 ・農業集落排水事業	ハード						○	○		全地域	→		
	・公共下水道の防災対策	ハード	○					○	○	○	全地域 (下水道事業計画区域等)	→		
<b>道路や公園等の整備・改築</b>														
市	・公園整備事業 (総合、街区、地区、近隣公園) ・幹線市道整備事業※ ・街路整備事業※ ・歩行者空間整備事業※ ・歩行者空間リフレッシュ事業※ ・橋梁維持補修事業※ ・トンネル等保全事業※ ・道路附属物等保全事業※	ハード	○	○	○	○	○	○	○	○	全地域	→		
<b>避難・救助環境の整備 (リスク低減)</b>														
<b>防災・救援体制の整備</b>														
国	・排水ポンプ車、照明車等による災害支援	ソフト	○	○	○	○	○	○	○	○	全地域 (各河川の流域等)	→		
市	・排水ポンプ車の出動要請の連絡体制の 整備	ソフト	○	○							全地域 (各河川の流域等)	→		
	・下水道施設における 緊急対応マニュアルの運用・見直し	ソフト	○								全地域 (下水道事業計画区域等)	→		
	・救急救命士の養成	ソフト	○	○	○	○	○	○	○	○	全地域	→		
<b>防災拠点の整備・改築・機能強化</b>														
市	・常備消防拠点整備事業	ハード	○	○	○	○	○	○	○	○	富山北部、富山南部、 富山東部	完了		
	・防災拠点機能充実強化事業 ・災害対応用資機材等の整備事業 ・消防分団器具置場改築事業	ハード	○	○	○	○	○	○	○	○	全地域	→		
<b>災害時のリアルタイム情報の収集・発信</b>														
国	・水位計・監視カメラの活用	ソフト	○	○							全地域 (各河川の流域等)	→		
県	・河川状況等ライブカメラ情報の活用	ソフト	○	○							全地域 (各河川の流域等)	→		
市	・内水氾濫を対象とした水位監視システム の構築	ソフト	○								全地域 (下水道事業計画区域等)	完了		
	・ライフライン共通プラットフォーム構築 事業 ・富山市センサーネットワーク利活用事業	ソフト	○	○	○	○	○	○	○	○	全地域	→		
<b>避難路や緊急輸送道路の強靱化 (再掲)</b>														

取組方針	取組内容・実施主体	ハード ／ ソフト	対応する災害リスク							主な 実施地域	実施期間 (R5～)		
			洪水	雨水 出水	土砂 災害	ため 池	地震	液状 化	津波		短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)
<b>避難・救助環境の充実 (リスク低減)</b>													
<b>防災拠点や体制の充実に向けた取組の推進</b>													
市	・避難場所等の充実に向けた取組の検討	ソフト	○							富山中央、富山北部、和合、富山西部、富山南部、富山東部、水橋、八尾、婦中	完了	→	継続実施
<b>地域主体の防災行動の推進 (リスク低減)</b>													
<b>防災意識や知識の啓発</b>													
国	・マイタイムラインの普及 ・出前講座等の活用 (水防教育)	ソフト	○							全地域		→	
県	・住民1人1人の避難計画、情報マップの作成促進 ・要配慮者施設の避難計画の作成及び訓練の促進	ソフト	○							全地域		→	
市	・出前講座等の活用 (水防教育)	ソフト	○	○						全地域		→	
	・要配慮者施設の避難計画の避難確保計画作成支援	ソフト	○	○	○					全地域	完了	→	
<b>災害リスク情報の充実・発信</b>													
国	・多段階水害リスク情報の充実 ・浸水想定区域図、浸水エリア情報等に対する支援	ソフト	○							全地域 (各河川の流域等)		→	
県	・浸水想定区域図 (中小河川) の作成、ハザードマップ作成支援	ソフト	○							全地域 (県管理支川の流域等)		→	
市	・浸水実績の周知	ソフト	○	○						全地域		→	
	・洪水等リスクの現地表示	ソフト	○							全地域 (各河川の流域等)	完了	→	
	・ハザードマップの普及、見直し	ソフト	○		○	○	○	○	○	全地域		→	
	・内水ハザードマップの作成、公表、普及	ソフト	○							全地域 (下水道事業計画区域等)	完了	→	継続実施
<b>災害時の共助体制の構築</b>													
市	・地区防災計画策定支援 ・富山市災害ボランティアネットワーク事業 ・災害時等協力事業所登録制度の推進 ・自主防災組織育成事業 ・避難行動要支援者制度の推進	ソフト	○	○	○	○	○	○	○	全地域		→	
<b>地域主体の防災行動の強化 (リスク低減)</b>													
<b>防災意識や知識の向上</b>													
市	・防災意識や知識の向上に向けた取組の検討	ソフト	○	○	○	○			○	富山中央、富山北部、和合、呉羽、富山西部、富山南部、富山東部、水橋、大山、八尾、婦中、山田、細入	完了	→	継続実施
<b>迅速な復旧・復興体制の整備 (リスク低減)</b>													
<b>復旧・復興関連計画の改善</b>													
市	・富山市上下水道業務継続計画 (BCP) の運用、見直し	ソフト	○					○	○	○	全地域		→
	・富山市業務継続計画 (BCP) の運用、見直し	ソフト						○	○	○	全地域		→
<b>被災者支援体制の充実</b>													
市	・被災者台帳の整備事業	ソフト	○	○	○	○	○	○	○	○	全地域	完了	→

※複数の方針と重複する取組

取組内容のスケジュール

## 7. 目標値

取組の効果を定量的に分析・評価するため、各取組方針に対応する評価指標と目標値を次のとおり設定します。なお、目標年度は、立地適正化計画の期間と同様の2025年（R7）とします。

評価指標		基準値 (各時点)	目標値 (R7)
目標値①：基盤整備の推進			
大雨に対して安全である 区域の面積割合	都市浸水対策を実施すべき区域※のうち、5年に1回程度発生する規模の降雨に対応する下水道整備が完了した面積の割合  ※雨水対策整備対象区域面積（概ね公共下水道区域）	77.5% (2021 (R3) 年度)	79.2%
目標値②：避難・救助環境の充実			
洪水に対して避難しやすい 区域に住む人口割合	居住誘導区域かつ洪水浸水想定区域※に居住する人口のうち、市指定避難場所から500m圏域の区域に含まれている人口割合  ※想定最大規模の洪水浸水想定区域（全浸水深）	69.0% (2022 (R4) 年度)	69.0% 以上
目標値③：地域主体の防災行動の推進			
自主防災組織の組織率	全世帯に占める自主防災組織加入世帯割合	73.3% (2022 (R4) 年. 3 末)	78.4%

評価指標及び目標値